

水清まし鏡由布岳早乙女と

す

かがみ

さおとめ

棕櫚の黄花がみを結ぶ頃

しゅろ

きばな

令和六年五月十五日

大中臣正比呂



由布岳、鶴見岳、伽藍岳の一带に降った雨雪は、清らかな湧水となって

ゆふ

つるみ

がらん

ゆうすい

田畑を潤す。五月、棕櫚が黄色い花を付ける頃、田圃には水が張られ、

うるお

しゅろ

たんぼ

これら火山を鏡に映し出す。やがて、核果を結ぶ頃には田植えが始まる。

かくか

村の早乙女は恋の季節である。

さおとめ

